

## オキサリプラチンを含む化学療法を末梢静脈より行った患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] XELOX (XELOX+BV) 療法における血管痛の発症要因と対策の検討

[研究機関] 北海道大学病院 (病院長 寶金 清博)

[研究責任者] 井関 健 (薬剤部・薬剤部長)

[研究の目的] 大腸がんの標準治療のひとつとしてオキサリプラチンとカペシタビン錠を使用した XELOX (XELOX+BV) 療法があります。オキサリプラチンは末梢静脈より投与を行うと血管痛を起こす患者さんが、他の薬剤より高い頻度で見られます。本研究では、XELOX (XELOX+BV) 療法にて末梢静脈よりオキサリプラチンを投与した患者さんについて調査を行い、血管痛を発症する頻度や発症要因・対策法を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

北海道大学病院で 2009 年 9 月～2015 年 1 月までの期間に、XELOX (XELOX+BV) 療法を開始し、末梢静脈より投与を行った患者

●利用するカルテ情報

年齢、性別、治療内容 (処方内容含む)、既往歴、臨床検査値 (ALT、AST、 $\gamma$ -GTP、尿酸、TG、T-Cho、LDL-Cho、HbA1c)、薬剤管理指導記録、看護記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院薬剤部 担当者 井関 健

電話 011-706-5680 FAX 011-706-7616